

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
家事支援技術Ⅱ Housekeeping Support Technology II		2年	後期	別途 時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (介護福祉士養成課程必修 準備品や提出物があるので注意。)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
生活技術論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟 3F	月曜・水曜12:30~16:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
自立に向けた家事の介護の仕方を学ぶ。生活支援としての洗濯・掃除・ゴミ捨て・衣類・寝具の衛生管理や裁縫・買い物・家庭経営や家庭の管理など、基本的な生活運営ができるよう技術を体得する。				
授業の到達目標				
基本的な生活運営がスムーズにできるよう、また利用者の状況に応じた介助支援ができるようにする。				
授業の方法				
テーマに沿って、実習、実技と知識で、より家事支援技術の実践・応用力をつける。				
学習の成果				
利用者の状況に応じた介護支援がスムーズにできることが、実践の場で求められるため、細かな支援に気づき、行動できるよう、発表や作品製作の紹介をとおして、考え方を共有し今後の支援の応用力を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	衣類・寝具の衛生管理①			
第2回目	衣類・寝具の衛生管理②			
第3回目	衣類の汚れ落とし			
第4回目	洗濯の方法			
第5回目	衣類の補修、衣類の保管			
第6回目	衣類のリフォーム制作			

第7回目	掃除のしかた、高齢者居室の掃除・注意点	
第8回目	ゴミ捨て、分別・エコライフ	
第9回目	買い物、家庭経営	
第10回目	家計管理/移動手段、支払い方法、購入方法	
第11回目	家事に参加することを支える介護、自律に向けた技術支援① (香、色彩、)	
第12回目	家事に参加することを支える介護、自律に向けた技術支援②	
第13回目	自律に向けた睡眠の介護・技術支援 補助マット利用	
第14回目	安眠を促す支援 温熱効果 補助寝具	
第15回目	QOL向上のための支援について まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	実習・実験・制作など毎回異なる内容の授業へ、積極的に参加し取り組んでいるか。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容 (態度含む)	60%	学生自ら、創意・工夫した個人制作物を発表しているか。支援の方法を共有し、家事支援技術の支援の幅を広げることができるようにしているか。
その他	20%	実習・実験・制作物の提出物は完成度は丁寧であるか。期限内の提出であるか。
教科書と参考図書		
生活支援技術Ⅱ (6) 中央法規、くらしの豆知識 国民生活センター		
履修上の心得・ルール		
毎時間授業内容が異なり、準備物や提出物があるので注意。		